

「ハクション！！」今年も花粉症の季節がやってきました。ご両親の花粉症のお薬はご予約なしで処方可能ですのでぜひご利用ください。卒業、卒園、入学を迎えられるご家族は誠におめでとうございます。だいが春めいてきて、サクタロウの散歩も心地良く新しい季節にワクワクします。何か新しいことを始めたいと思う今日の頃…。 院長 池澤滋

感染症情報 1/20~2/23	前回	今回
RS ウイルス感染症	1	5
アデノウイルス	4	6
溶連菌感染症	17	25
感染性胃腸炎	30	128
水痘	1	0
手足口病	2	3
リンゴ病	0	1
突発性発疹	1	9
インフルエンザ A	303	42
インフルエンザ B	0	2



登場人物



作絵子エコ&キミコ

実話

「池澤家の伝統」

結婚当初から、夫のクシャミが気になっていました。しかし、義理の父も同じクシャミをしていたような。



この続きは Instagram で →



- ★クリニック予約
 - ★クリニックホームページ
 - ★いけざわ beauty(インスタ)
 - ★クリニック Instagram
- こちらから → → →



たのしいひな祭り



あかりをつけましょぼんぼりに～♪
毎年この季節になると童謡「うれしいひなまつり」のイントロ部分がとにかく頭の中をくるくる回る。

あれは 28 年前、二人目の出産の時。男の子なのか、女の子なのか？性別を聞かずに過ごした 10 ヶ月。産婦人科で出産した際、助産師さんから『女の子です！』と聞いた時は、驚きと嬉しさで私は分娩台に乗ったまま拍手した。一人目が男の子で、次も男の子だろうと勝手に決めつけていたから・・・自分が女の子を産めるなんてすごい！私はわけもなく興奮した。お腹の中にいる間、ずっと男の子と思っていたので「男らしく」ならないか？しばらく私は心配だった。

実はこの娘を妊娠した 5 ヶ月目に大変なことが起こっていた。それは夜中に急にお腹が痛くなり、切迫早産疑いで入院したら「盲腸」だったのだ。盲腸が破れたら胎児が危ない…。私は大きなお腹のままストレッチャーでオペ室に運ばれ緊急手術になった。おかげ様で私とお腹の子は無事に守られ、娘は予定より 3 週間も早く生まれたのに 3400 グラムもあった！出産後もびっくりするほど大きくなるのが早く、体重増加が目に見えるようだった。7 ヶ月でつかまり立ちをした時の光景は衝撃すぎて今でも忘れられない。女の子が生まれたからと、主人の両親が初めての節句にお雛様を買ってくれた。それはそれは立派なお雛様。当時の小さなアパートでどこに飾ればいいのかわからない程、どこかチグハグなお雛様をバックに何枚も写真を撮り、分厚い料理の本を片手に蛤のお吸い物、ちらし寿司を作ってお祝した。



その後次女も生まれ、私達には二人の娘がいるが、東京、福岡と離れていても、それぞれ変わる変わる電話をかけてきてくれる。「もちもち？」なんてもない電話の内容は始終笑いに包まれつついつい長くなる。早く結婚しないかな、と思いつつ「結婚したら、こんな電話もかけにくくなるのだろう」と思うと貴重な時間を噛み締める。

もちろん、これまでだって全て貴重な時間だったはずだ。子育てに追われる日々の中で、そのことがどれほど尊いことか、私は気がつけなかった。何気ない毎日の中に幸せの種が散りばめられていた。今になってようやくあの一つ一つがかけがえのない瞬間だったとわかる。ヨチヨチと歩き始めたあの頃にも戻らないし、抱っこ泣いて困ったあの時にも戻らない。彼女達にとっても、私達親にとっても人生は一度きり…。

あれから長い年月を経て、今は私と夫の二人暮らしだが、私は変わらず雛人形を飾っている。子どもが巣立っても夫婦ふたりの残りの人生、季節を丁寧に味わいながら暮らしたいと思う。

先日たまたまランチに入ったお店で、メニューを開くと思いがけず「ひな祭り御膳」があった！『ねえねえ、これ二人で食べてひな祭りしよう！』運ばれてきた蛤のお吸い物と可愛いお椀に入った小ぶりのちらし寿司。『いただきます～！』お膳を前にニンマリと手を合わせた瞬間、夫がいつものように写真を撮って家族 LINE へ投げる。

私達の人生に『ひな祭り』をくれた娘たちに乾杯！

